



人と自然が 輝く にいがた

はじめてみよう、地域と人を守るために。好きだから、守り育てよう このまちを！



新潟県
新潟市
公立新潟小学校
学校給食センター
望心
H12.9.16
Ayumi Ito

新潟地区ふるさとセンター
こみゆにてい ほっと新潟

新潟地区の住民自らが、地域活動を展開していくことにより、
目指す将来像を達成し、地域の振興と活性化を図っていくための指針として、
ここに「新潟地区まちづくり計画」を策定します。

基本理念

**人と自然が輝き
無限の地域の
つながりを感じる
新潟地区としたい**



目指す新潟地区の将来像

- (1) 明るく思いやりのある心を育み、認め合い、励まし合い、助け合うまち
- (2) あいさつや笑顔があふれ、地域や世代を超えて交流できるまち
- (3) 地域の宝を共有し、守り、継承しながら、新しい宝を生み出すまち
- (4) 安全・安心で健幸に暮らせるまち
- (5) 地域の子どもたちをみんなで育てるまち



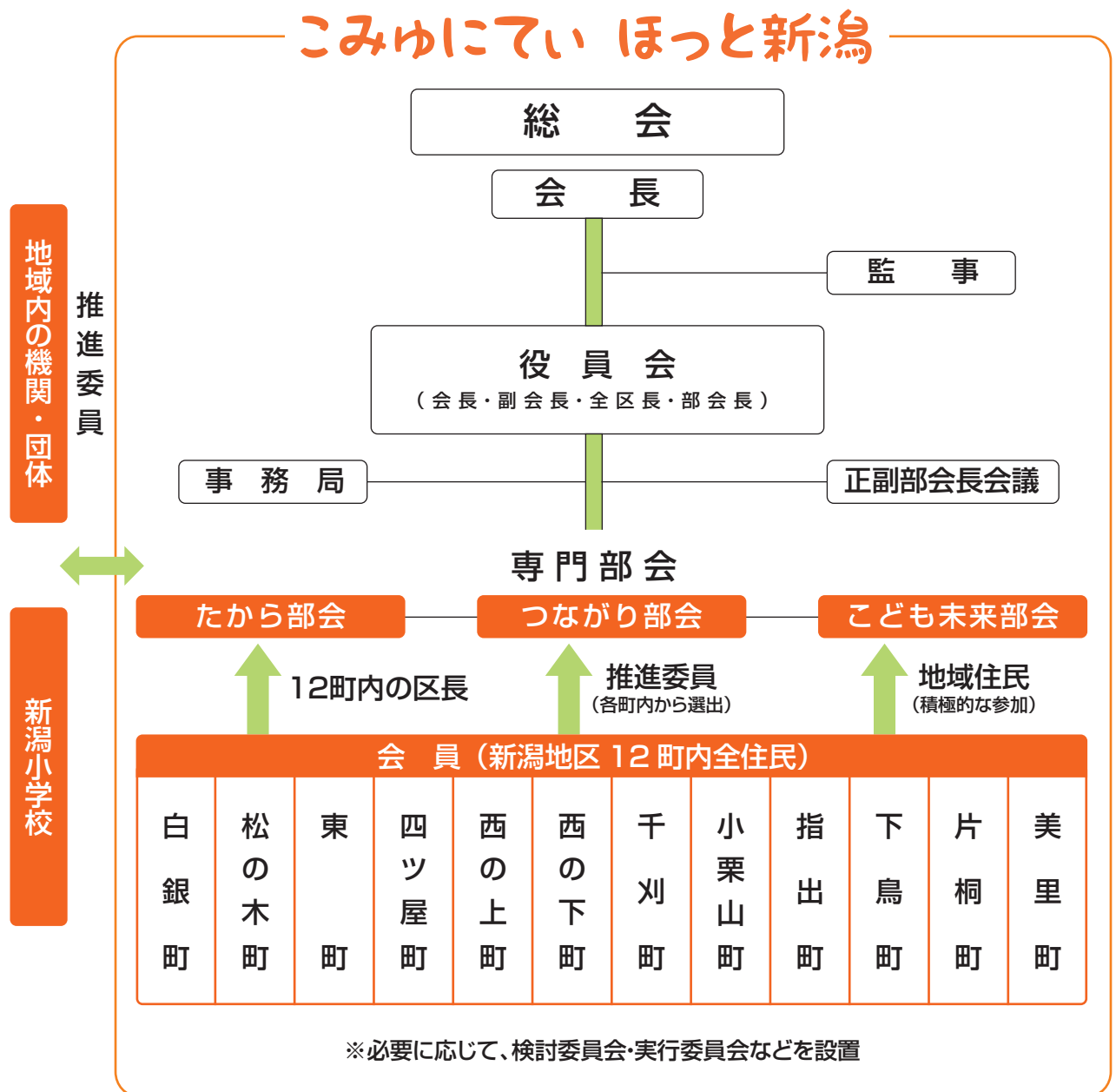
地域の目標

目 標

主担当

- | | |
|---|---------|
| (1) 自然や環境、歴史や伝統、先人などの宝を知り、活かし守り、継承し、健幸に暮らせる地域にしていきます。 | たから部会 |
| (2) 子どもからお年寄りまで世代や町内を超えて交流し、防災・防犯意識を高め、安心して暮らせる地域にしていきます。 | つながり部会 |
| (3) 子どもたちが、楽しみ、学び、親と子がともに成長する地域にしていきます。 | こども未来部会 |

組織構成



◎この組織の名称を「こみゆにてい ほっと新潟」とします。

この名称は、設立時に公募により決定しました。この名称には「この地域に住んでいる人たち、また故郷を離れた人たちがいつ帰ってきても、ほっと温もりを感じることものできる地域であってほしい」という願いが込められています。

◎「こみゆにてい ほっと新潟」は、新潟小学校区の12町内を構成町内とし、その全住民をもって組織します。

推進体制

◎推進体制は次のようになります。

- ① 新潟地区12町内の全区長は、組織の中心的な役員となります。
- ② 新潟地区12町内は、1名(千刈町は2名)の推進委員を選出します。活動の継続性ということから、12町内を2つのグループに分けて、任期をずらして一度に推進委員がすべて入れ替わることをないようにします。
- ③ 女性の意見を反映するため、町内選出推進委員の中に「女性枠」を設け、半数は女性となるようにします。
- ④ 地区内の各団体、公的機関等から推進委員を1名以上選出します。
- ⑤ 推進委員の公募を行なうなど、地域住民がいつでも、だれでもが入れるオープンな組織とします。
- ⑥ 推進委員の任期は2年です。

◎**総会** こみゆにてい ほっと新潟の最高意思決定機関です。

◎**役員会** 運営の基本方針などを定める総括的な機関です。

◎専門部会

地域の目標を推進するために、次の3つの専門部会を設置します。

たから部会	地域の目標の(1)を推進します。
つながり部会	地域の目標の(2)を推進します。
こども未来部会	地域の目標の(3)を推進します。

◎正副部会長会議

部会の共同事業など各部会の連携・調整を図る場とします。

各部会の部会長、副部会長で構成します。

- ※ 実行委員会
…感謝祭などの大きな事業
- ※ 検討委員会
…まちづくり計画や組織体制など





こみゆにてい ほっと新潟 活動紹介



▲各町内から新潟公民館までの
クリーン作戦



▲新潟地区親子球技大会



▲防犯・交通安全がテーマの看板
設置



▲ふるさとセンター前の樽プラン
ターに花植え



▲新潟小学校協のフラワーロード
に花植え



▲ほっとぱーくの芝張り



▲ほっとぱーくの草取り



▲消防団分団演習時、災害を想定
したけが人搬送訓練



▲地域のお茶の間・ほっとサロン
「はつらつ元気体操」



▲フェスティバルでの餅つき大会



▲ふるさと探検ウォーキング



▲毎年恒例のメッセージ花火大会

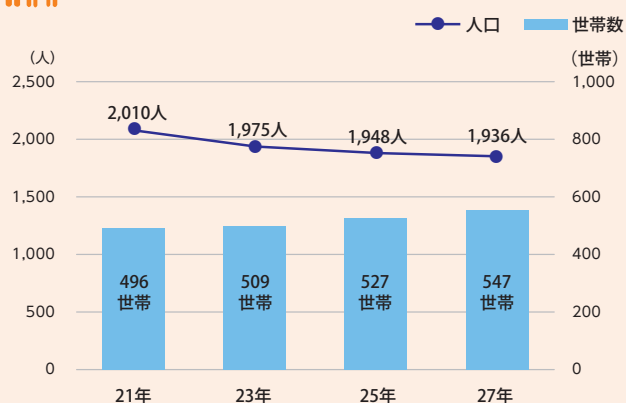
こみゅにてい ほっと新潟の経過

- 設立準備会(全9回開催)平成19年4月23日～11月25日
- こみゅにてい ほっと新潟設立平成20年3月
- 新潟県自治活動賞受賞平成23年11月
- 青少年育成会とフラワーロード新潟の会の加入平成25年5月
- ロゴマーク制定平成28年2月
- 部会の見直し及び新潟地区まちづくり計画改訂版発行…平成28年3月

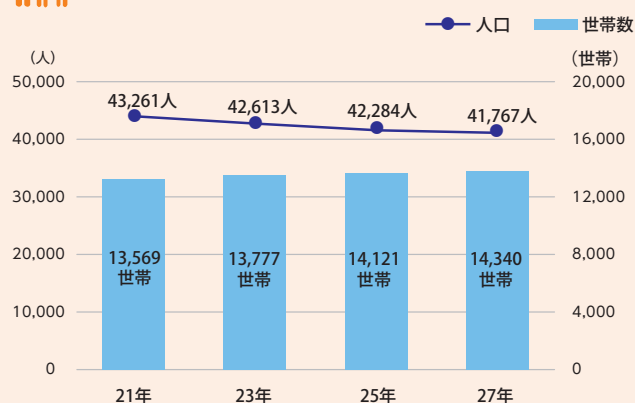
新潟地区データ



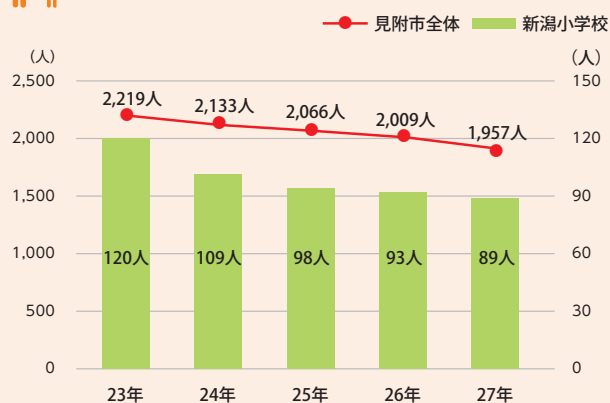
■ 新潟地区の人口・世帯数の推移(各年1月1日)



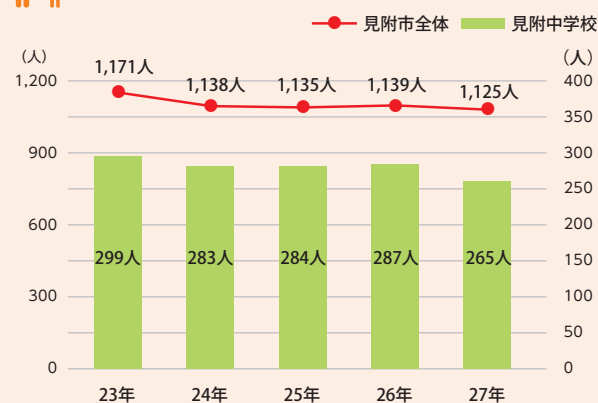
■ 見附市の人口・世帯数の推移(各年1月1日)



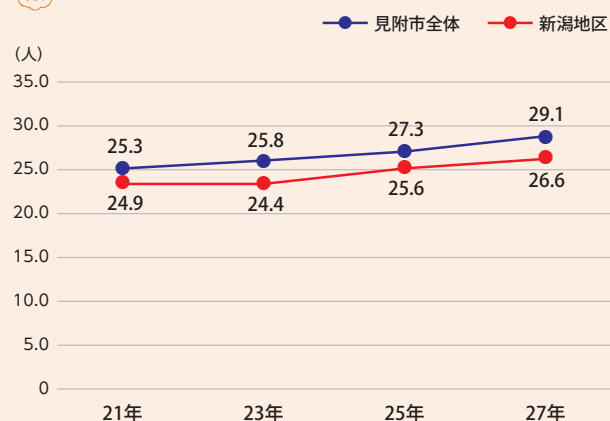
■ 新潟小学校の児童数(各年5月1日)



■ 見附中学校の生徒数(各年5月1日)



■ 高齢化率(65歳以上の人口/全人口)(各年4月1日)



■ 65歳以上のみ世帯(平成27年4月1日)

見附市全体	65歳以上のみの世帯	3,197世帯	4.5世帯に1世帯
	うち1人暮らし	1,705世帯	8.4世帯に1世帯
新潟地区	65歳以上のみの世帯	79世帯	6.9世帯に1世帯
	うち1人暮らし	38世帯	14.4世帯に1世帯

新潟公民館建設と大橋清蔵氏

新潟公民館は、下鳥町出身の大橋清蔵氏からの多大な寄付により建設され、昭和57年12月末竣工しました。

大橋清蔵氏は、大橋一蔵を祖父とし、婦人会の創立、育成に一生を捧げたのぶの長男として、下鳥町で明治28年に生まれました。県立三条中学校から盛岡高等農林学校（現岩手大学）に学び、卒業後は島根大田農学校に赴任しました。昭和15年までの約25年間に島根県の各農林学校に奉職。教え子として岩谷産業（株）の創始者の岩谷直治がいたのです。昭和16年、請われて満州に渡り日本の農林学校としてただ一つの校長として着任しました。

敗戦により家族で引き揚げて郷里に帰ってきましたが、東京に出て住いとししました。地元を大切にして毎年下鳥に帰り、新潟地域の青年に呼びかけて「清風塾」を設立し、青年の指導に情熱を注いだのでした。

昭和49年には新潟保育園の建設費を寄付され、昭和57年には新潟公民館の敷地と埋め立てによる千葉県浦安の土地を見附市に寄付されました。見附市は浦安の土地を売却し、講堂（体育館）の建設費用に充てたのです。平成元年、94歳で逝去。



小栗山不動院の獅子舞

小栗山町の不動院に約350年前から伝わる「不動院獅子舞」、昭和45年頃には舞い手不足で一時中断。昭和51年に「小栗山不動院獅子舞保存会」が発足し、現在に至っています。

平成8年から新潟小学校へ呼びかけ、児童への継承が始まりました。

現在は「新潟小学校獅子舞クラブ」として毎年8月の不動院大祭、文化祭や市内の催しで公演しています。見附市指定文化財となっているこの伝統の獅子舞を演じ継いできた活動が評価され、平成25年、博報賞の全国最高賞を受賞しました。

子どもたちが地域の伝統を守り、自己能力を高める機会にもなっていると同時に、獅子舞保存会の継続に寄与することが期待されています。



こみゆにてい ほっと新潟

〒954-0007 新潟県見附市下鳥町152番地7

新潟地区ふるさとセンター

TEL/FAX : 0258-62-2305

E-mail : hot-niigata@city.mitsuke.niigata.jp

平成28年3月発行

表紙・裏表紙画：日展評議員 池山阿有さん

2016.3(1000)